

平成 19 年 12 月 18 日

ガス圧接技量資格者及び
ガス圧接技量資格者所属会社 各位

社団法人 日本圧接協会

平成 20 年度より実施するガス圧接技術講習会の件（お知らせ）

拝啓 貴社ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。
平素は当協会の事業に対しまして、格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、この度、ガス圧接技量資格者の中間審査の改正により、ガス圧接技量資格者の技量水準の維持・向上のための継続教育と位置付け、平成 20 年 4 月よりガス圧接技術講習会を実施することといたしましたので、各位のご理解とご協力をお願いいたします。
なお、ガス圧接技術講習会の主旨、ガス圧接技量資格者の中間審査との関係及び実施内容の詳細につきましては、別紙のとおりですので、内容を十分ご理解いただきまして、受講対象となりますガス圧接技量資格者各位への周知をお願いいたします。

敬具

記

<別 紙>

ガス圧接技量資格者を対象とした「ガス圧接技術講習会」実施について 1 通

以上

<別 紙>

平成 19 年 12 月 18 日

ガス圧接技量資格者を対象とした「ガス圧接技術講習会」実施について

社団法人 日本圧接協会

1. ガス圧接技術講習会の主旨について

近年、建設構造物の性能品質に対する社会的要求が高まる中で建設工事における品質管理が重視され、鉄筋継手の品質確保は益々重要な課題になっています。昨今、技術者・技量者の継続教育の重要性が指摘されていますが、ガス圧接技量資格者についても、技量水準の維持・向上のために継続教育は重要な課題です。

本協会では、協会が認証している技量資格者に対して、技量水準の維持と向上を目的とした各種講習会を実施しています。すなわち、圧接管理技士については圧接管理技士研修会、鉄筋継手部検査技術者については鉄筋継手部検査技術講習会、熱間押抜ガス圧接部検査技術者については熱間押抜ガス圧接法講習会を実施して、新規又は更新試験受験者に対する継続教育の場となっています。

しかし、ガス圧接技量資格者については、これまで技量資格検定試験を行うのみで、継続教育の場を提供することができませんでした。これはガス圧接実技講習会における本協会の実技指導の体制ができなかったことによるものでした。

本協会では、会員、非会員を問わずガス圧接技量資格者を認証していますが、非会員には日々進化するガス圧接技術の情報が届きにくいこと、資格者の社内での継続教育の実態が十分に把握できない状況にあることなどから、継続教育の場としてガス圧接技術講習会を設けることとしました。

2. ガス圧接技術講習会と中間審査の関係

現在、要員認証品質マニュアル技量資格者中間審査実施規則によりガス圧接技量資格者が資格を更新するに当たっては「中間審査」が必須となっています。今回、この中間審査の審査方法を改め、“座学と実技”による講習会を実施することにより、技量水準の維持を確認することとして、本講習会を全国のガス圧接技量資格者全員を対象とした中間審査として位置付け、本講習会の受講することを必須といたしました。

したがって、本講習会の受講を持って中間審査が完了することになります。なお、「中間審査」は、ガス圧接技量適格性証明書に記載された期間内での完了が必要であり、期間内に完了しない場合は、規定により期間内に中間審査が完了していないことを協会が通知した日より、2ヶ月以内に技量資格の「再評価」の手続きを行う必要があります。

3. ガス圧接技術講習会の実施について

平成 20 年度より実施するガス圧接技術講習会は、座学講習でガス圧接に関する最新情報が得られるとともに、実技講習でガス圧接工程における重要ポイントの再確認を行い、自分自身では気づかない“癖”の矯正等、個別指導を含む“技量資格者、一人一人

が考える” 実習を行うこととしており、ユニークで有意義な講習会内容となっています。

本講習会は、業界団体である全国圧接業協同組合連合会と傘下の北海道圧接業協同組合、東北圧接業協同組合、関東圧接業協同組合、中日本圧接業協同組合、関西圧接業協同組合及び西日本圧接業協同組合の全面的なご協力のもとに全国各地の実施が可能となりました。

4. ガス圧接技術講習会の実施内容の詳細

○受講対象者：適格性証明書に記載された中間審査期間内の手動ガス圧接技量資格者

※自動ガス圧接技量資格者、熱間押抜ガス圧接技量資格者及び天然ガス圧接技量資格者については、手動ガス圧接技量資格者として受講した時点で終了したものと見なす。

※優良圧接会社に所属しているガス圧接技量資格者は、社内教育の内容及び教育実施状況が協会でも把握できているため、対象としない。

○実施時期：平成 20 年 4 月より実施（実施日は土曜日又は日曜日を予定）

※全国各地での開催スケジュールは、会報「圧接」及び協会ホームページにて公開する。

○開催場所：全国各地で実施

○開催人数：各会場 20 名から 80 名程度を収容予定（会場規模により適宜お知らせします。）

○講習時間：午前 9：00～午後 3：00 を予定

※座学講習約 1 時間、実技講習約 4 時間、昼食時間約 1 時間

※会場により開始時間、終了時間が変更となる場合があります。

○講習内容：

（ 1 ）座学講習（約 1 時間）

①ガス圧接に関する最新情報、②ガス圧接継手の品質と検査、③ガス圧接作業における重要ポイント、④技量資格者の倫理（モラル）

（ 2 ）実技講習（約 4 時間）

ガス圧接技術講習会（実技用）作業標準によるガス圧接実技

○受講者持参物品及び機材

①中間審査期間内の受講者自身が保有するガス圧接技量適格性証明書（本証）、②受講票、③筆記用具、④鉄筋材料（D25×8 本、300 mm±10 mm切断/本、ミット不要）、⑤ガス圧接機器一式（圧接用ガスを含む）、⑥ガス圧接が出来る服装等一式（安全に配慮したもので、ヘルメット、安全靴等）⑦昼食

○受講料：会 員 申請料 3,000 円 審査料 10,000 円

会員外 申請料 3,000 円 審査料 15,000 円

※講習資料、受講完了シールを受講料に含む

※関東地区（つくば技術センター）で受講を希望される方は、受講料の他に別途、ガス設備等利用料（ 3,000 円）がかかります。

以上

◎ご不明な点がございましたら、下記協会事務局担当までご連絡下さい。

社団法人日本圧接協会 事務局 TEL03-3230-0981 FAX03-3230-0982

平成 19 年 12 月 18 日

—— ガス圧接技術講習会の受講と中間審査の流れ ——

